

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第208号

令和6年1月9日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

子どもサイエンスフェスティバル厚木大会

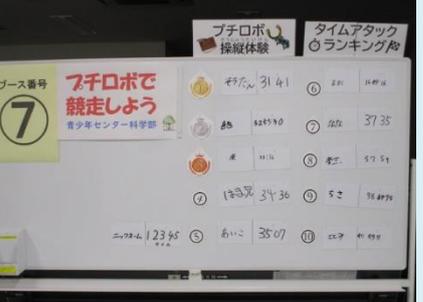
年間4回(4地域)開催する「子どもサイエンスフェスティバル」の2回目が、12月23日(土)にあつぎ市民交プラザ(アミュあつぎ6階)で行われました。

地域の団体や高校、大学等の6団体および県立青少年センター科学部が出展し、当日は129名の来場者(子ども66名、保護者等63名)が工作や実験を笑顔で楽しむ姿が見られました。アンケートの結果、**満足度の平均が4.7**(5点満点)と高く、来場された方がとても満足できる「子どもサイエンスフェスティバル」となりました。



<h3>1 ういてまわせるおもしろマシン(UMO マシン®)をつくろう!</h3>	<h3>2 発電と電池の体験デモンストレーション</h3>	<h3>3 伊志田の実験ミュージアム</h3>
<p>おもしろ実験・科学工作 指導者セミナー修了生有志</p>	<p>特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会</p>	<p>神奈川県立伊志田高等学校 自然科学部</p>
<p>磁石を使って(Uite)そのまま回せる(Mawaseru) おもしろ(Omosiro)い、不思議な物体の工作ブースです。磁石の浮く様子に子どもたちは驚いていました。</p>	<p>手回し発電機、ゼーバック素子、備長炭電池、水素燃料電池を使い、電気を作る体験ブースです。電気ができる仕組みを子どもたちが楽しそうに学ぶことができました。</p>	<p>身近な哺乳類や鳥類の骨格標本、魚類はく製などの展示を見ることができ、さらにプラバン工作を通してプラスチックの性質を楽しみながら学ぶことができました。</p>

<h3>4 磁石で楽しめる 「坂道くるくる」</h3>	<h3>5 家電を解体して仕組み・ SDGsを観察しよう</h3>	<h3>6 ひょうたんランプ</h3>
<p>公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部</p>	<p>神奈川工科大学</p>	<p>神奈川工科大学 厚木市子ども科学館</p>
<p>磁石で作った人形が、秘密の坂道をくるくる回転しながら下りてくる工作ブースです。子どもも大人も工作に夢中でした。</p>	<p>家電製品を解体し、その構造と仕組みを学ぶブースです。IHヒーターや液晶モニターを分解するショーに子どもたちは釘付けでした。</p>	<p>子ども科学館で栽培した「ひょうたん」を使ったランプです。炎のゆらぎが再現されており、来場者は立ち止まって見ていました。</p>
		
		

<h2>7 プチロボで競走しよう！（プチロボ操縦体験）</h2>		
<p>青少年センター科学部</p>		
<p>小型ロボット「プチロボ」の操縦体験ブースです。子どもたちはタイムアタックに夢中でした。</p>		
		

事務局から

今年度の「子どもサイエンスフェスティバル」も1月13日(土)の平塚大会、2月3日(土)の相模原大会の残り2回となりました。子どもたちの科学体験活動の場を提供するため、引き続き会員の皆様のご協力をお願いいたします。

(事務局：奥村、山田、上田、山口)

